

FOA-NEWS

通算第27号

2007/8/25



新人紹介



大野祐明



佐々木正之



張替淳一



川口拓朗



大城洋介



清水悠平



鬼島俊幸



阿部真也



阿部仁



阿部博之



遠藤隆浩



佐藤竜司



小関準



荒井識考



鈴木勝滋



濱田利真



大竹剛



田中孝治



勝畑尚幸



神田佳佑



郷津真史



難波衛



[敬称略・部内限]

TASO 報告

後藤 篤

今回、関東審判部よりTASOの State Football Convention に派遣され、私のような英語も出来ない先行き短い者が派遣されて良いのかと疑問を持ちつつ、馬島理事と参加して参りました。それぞれのセッションについては馬島理事が報告されておりますので、私は全体を通して感じた事をいくつか述べさせていただきます。

(1)参加者の熱心さ

どのセッションでもリーダーの問いかけに参加者の多くが声をそろえて答える場面がたびたび見られ、単に聞いているのではなく、積極的に参加している態度がひしひしと感じられました。特に若い人が自分の審判技術を伸ばす事で参加するリーグをステップアップさせ、最終的にはNFLで笛を吹く事を夢見ている姿勢が随所で感じられました。

(2)コミュニケーションについて

審判同士はもちろんの事、コーチ・選手とのコミュニケーションを大切にしている姿勢がありました。初日の午前中は「総会」的な会議であり、挨拶や表彰などもありましたが、その中心は「Coaches Round Table」というコーチ4人によるパネルディスカッションであったように思いました。コーチ4人の話す内容は残念ながら私の英語力では1割も理解できませんでしたが、4人ともユーモアに満ちた話だったようで、笑いや喝采が絶えない1時間でありました。さらにそのあとでゲーム中のコーチと審判のさまざまな会話集のVTRが紹介され、爆笑の渦でありました。午後の、そして翌日のセッションでもコーチとの対話が常に留意ポイントとしてあげられ、「Please」「Sir」「Thank you」を忘れずに、「Respectful」な態度をとるように、また選手にも「Mr.」をつけて呼ぶようにと強調されて

いました。関東審判部でもクリニックでしばしば「高圧的な言い方をしないように」といわれる事と通じるものがあるように感じました。

(3)Dead ball officiating

プレー中だけでなく、グラウンドでは「常に officiating している」ことが大切であり、それを「PositiveかつHappy」に行っている事を「Body Language で示せ」とどのセッションでも言われました。

その他、関東審判部は Lewis ご夫妻と大変親しくしていただいています。私はこの Convention の間に始めて Lewis ご夫妻と交流をさせて頂きました。そして Convention の参加者がいかにご夫妻を大切な人として遇しているかも良くわかりました。

また関西の濱田・高倉両氏とも交流する事が出来たとともに大変お世話になりました。

今回の参加に関して関東審判部のご配慮、Lewis ご夫妻の心遣い、濱田・高倉両氏のご親切に心から御礼申し上げます。



馬島理事

TASO 派遣にご理解とご協力をいただき、部員の皆様に改めて感謝致します。

2007、7、12～15に渡って開かれたTASO(Texas association of sport officials)のState football conventionの報告をいたします。

ヒューストン北西約150KMIに位置するCollege stationで、その支部によって開催されました。今年の特徴は各セッション(キックゲーム、ランニングゲーム、パスゲーム、ルール変遷その他)を支部が担当し、それぞれに全く独自のクリニックを開いたと言う所でした。関東で言えばミニクリまたはブロックが担当しプレゼンを開くと言った形に相当すると思ってください。例年はDIV. 1やNFLでジャッジをしているオフィシャルがセッションを開催していたことと大きく違っていました。

内容は各支部が行なっているメカニックをプレーごとに紹介して解説を加える様式で支部によっては一人のスピーカーが全てを解説をしたり、ポジションごとにリーダーが解説をしたりと様々な様式を採用していました。方法は資料配付は無くパワーポイントを駆使し、スライド形式で展開していくものです。映像の採用はありませんでした。

キッキングゲームはAUSTIN支部が担当で、プレーの進行に合わせて留意点やチェックするポイントを挙げ、メカニックの動きを細かく見せていました。

パッシングゲームもほぼ同じような手段でクリニックを進めていました。担当はVALLEY支部です。

ランニングゲームはSan Antonio支部で、ポジシ

ョンごとに分けそのリーダーがスピーカーになり解説を展開する様式で、基礎的なメカニックの確認が主体でした。

ルール変遷はここ3年間の変更項目を挙げ、それを解説していくセッションでRivera支部担当です。会場では、なんでその変更が起こったのか？何で変更するのか？などの質問が盛んに繰り返され一番活気のある会場でしたが、我々にとっては既に毎年喜入さんから詳しくしかも解りやすく報告を伺っているのでもって特別目新しい発見は無かったように思います。

その他には反則施行に関するセッションなどがありました。いくつかの反則と同時にいくつかのターンオーバーが起こった時の施行は？というかなりマニアックな設問が多く興味深いセッションの一つでした。

ほとんどのセッションは基本的なメカやルールが中心で対象者がTEXAS中の新人を含め全オフィシャルであるので、広く浅くの姿勢は共通の展開でした。支部ごとに資料作成や解説を任せると言うクリニックも非常に興味深く、関東審判部にも採用してみたい方法だと感じました。

最後にSocial with VIP'sでいらしていたNFLのオフィシャル採用リクルートのRON氏とTexas Hold'EMでお話をする機会があり、日本のオフィシャルもNFLやアリーナフットボールに採用したいと言っておられ、ご自分の休暇を使って来日し、試合を見たいとおっしゃっていました。皆さん、NFLにチャレンジしてみませんか？

